

第8章 2.清代の中国と隣接諸地域 b, 清朝支配の拡大

①康熙帝…

ア)台湾を領内にくわえる=[1鄭成功]一族を破る

イ)[2ロシア]とたたかい、国境線をスタノヴォイ山脈とする=[3 **ネルチンスク**]条約
ピョートル大帝 外興安嶺

ウ)西北モンゴル、ジュンガルへ遠征→[4 **外モンゴル**]を支配

エ)[5 **チベット**]へも勢力拡大 **現在のモンゴル国**

②雍正帝…[6 **キャフタ**]条約でロシアとの西部国境を確定

ネルチンスク条約… 1689 年清の[7 **康熙**]帝と[8 **ロシア**]のピョートル大帝の間で結ばれた条約。東[9 **シベリア**]方面の国境を外興安嶺とした。なおこの両国はのち中央アジアの国境をめぐり[10 **キャフタ**]条約を締結した。(1727)

③乾隆帝…ジュンガルを滅ぼし[11 **東トルキスタン**]全域を占領=[12 **新疆**]と称する →現在の中国の原型が完成 **新しい領土**

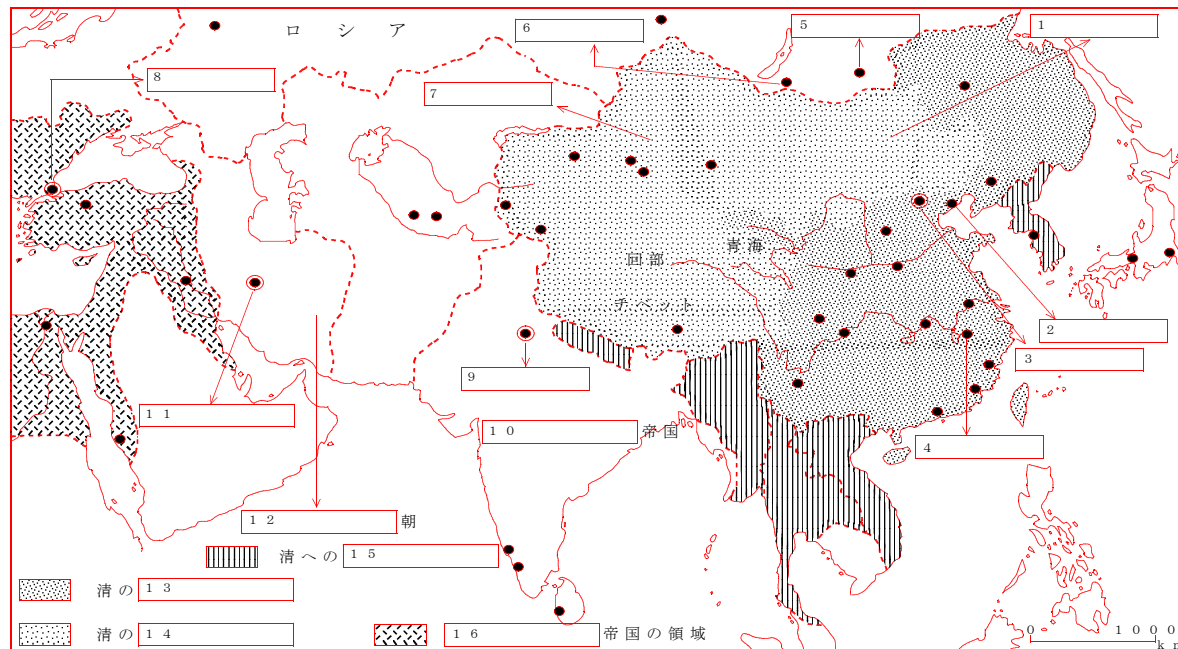
④中国の支配地

直轄領=中国内地、台湾、[13 **中国東北部(満州)**]

藩部=[14 **理藩院**]を置いて統括=モンゴル、青海、[15 **新疆**]、[16 **チベット**]

属国=[17 **琉球**]、[18 **朝鮮**]、タイ、ミャンマー

清と[19 **朝貢**]関係を持つが、服属関係は[20 **形式**]的



清代のアジア(18世紀なかば)

⑤清の藩部の支配=[21 **理藩院**]に統括

現地の支配者が、清が派遣した監督官とともに、地方を支配、宗教・習慣には干渉しない
チベット…[22 **ダライ=ラマ**]など

理藩院……[23 **清**]時代、その領土となったモンゴル、チベットなど周辺地帯におかれた[24 **藩部**]を監督する目的でおかれた官庁

c, 清代の社会経済

①[25 **海禁**]政策の解除→海上貿易の活発化

生糸・[26 **陶磁器**]・[27 **茶**]などの大量輸出→大量の[28 **銀**]の流入→国内流通の活発化

②[29 **福建**]・広東の人々→[30 **東南アジア**]に移住([31 **南洋華僑**]の形成へ

→しだいにこの地の経済を支配するようになる

③乾隆帝、1757 年、貿易港を[32 **広州**]に限定、[33 **公行**]に貿易を独占させる

特定の商人組合

④税制=[34 **地丁銀**]制

地丁銀制…[35 **清**]の[36 **雍正**]帝の頃に確立した税制。人間に対する税を廃止し、土地税に一本化した。

d, 清代の文化

①[37 **考証**]学…黄宗羲、[38 **顧炎武**]

事実に基づいた実証的な研究を主張

②清…大編纂事業=[39 **「康熙字典」**][40 **古今圖書集成**][41 **『四庫全書』**]

→考証学の発展(銭大昕ら)

③清の文学

小説「42 **紅樓夢**」「儒林外史」「聊齋志異」、戯曲「長生殿傳奇」「桃花扇傳奇」

④西洋文化の導入=[43 **イエズス**]会、ヨーロッパ文化の紹介を通じて布教

ア) **(明末)** マテオ=リッチ(伊)→エウクレイデスの幾何学を漢訳([44 **徐光啓**]と共同)

[45 **『坤輿万国全図』**](=世界地図)作成

イ) アダム=シャル(独)…『崇禎曆書』・天文・砲術、フェルビースト(ベルギー)…砲術・大砲製造

徐光啓と共著

ウ) ブーヴェ(仏)…[46 **『皇輿全覧図』**]=中国地図の作成に協力

エ) カスティリオーネ…[47 **円明園**]の設計、ヨーロッパ画法の紹介

⑤イエズス会の布教方針→中国の伝統を受容、孔子崇拝や祖先崇拝を認める

他派の宣教師の批判→1704 年、ローマ教皇も批判を認める([48 **典礼**]問題)

1704 康熙帝、イエズス会以外の布教方式を禁止

1723 雍正帝 [49 **キリスト**]教を全面禁止

典礼問題…[50 **イエズス**]会の布教のやり方をめぐってカトリックの教団間でおこった対立が発生、これが清朝の反感をかい、康熙帝はイエズス会を除く[51 **キリスト**]教の布教を禁止、雍正帝は全面禁止に踏み切った。のち乾隆帝は貿易を[52 **広州**]一港に限定、貿易業者も[53 **公行**]とよばれる特権商人を通じてに限定する。

